

**日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院で
診療を受けられた患者さんへ
～臨床研究に関する情報公開について～**

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究の詳細についてお知りになりたい場合も、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。なお、研究の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内での開示となります。

研究課題名	日本ネフローゼ症候群コホート研究 (JNSCS)		
研究実施予定期間	院長が研究実施を許可した日 ～ (西暦) 2027 年 12 月 31 日		
研究実施診療科	腎臓内科		
研究の倫理審査等	治験・臨床研究審査委員会審査日	2018 年 3 月 26 日	
	院長が研究実施を許可した日	2018 年 3 月 27 日	
対象となる方	(西暦) 2009 年 1 月 1 日 ～ (西暦) 2010 年 12 月 31 日に、当院腎臓内科において、原発性ネフローゼ症候群と診断され、先行研究 (当院での研究課題名：ネフローゼ症候群の前向き研究) に登録された方。		
主たる研究実施機関	大阪大学大学院医学系研究科腎臓内科学 (研究代表者氏名：猪阪 善隆)		
共同研究機関	別紙【研究組織】参照		
当院の研究責任者	所属	腎臓内科	氏名 新城 響
研究の意義	日本腎臓学会では、以前より腎生検を行った患者さんのデータを中心に症例登録を行い、日本における腎臓病の実態の把握に努めています。以前に行われた本研究と同様の先行研究では、対象者の方の情報を 5 年間追跡しました。本研究では、その患者さんたちの追跡期間を 10 年間に延長します。原発性ネフローゼ患者さんのデータを 10 年間の長期にわたって追跡することで、原発性ネフローゼ症候群の実態を把握するとともに、末期腎不全等の発症のリスクとなる要因や、発症と治療の関連性等について明らかにできることが期待されます。		
研究の目的	検査結果や治療について調べる事によって、①どれくらい多くの患者さんの腎機能が実際に低下していくのか、②血圧や蛋白尿などの予後予測因子がどれくらい予後に関係しているのかを明らかにし、③腎機能が低下して透析に至ることを予防する治療戦略の開発を目的とした研究です。		
研究の方法	対象となる方の臨床情報と腎生検の病理標本を研究代表者が解析します。当院の患者さんに関しては、臨床情報のみの提出となります。		

研究に使用するもの	診療録から得られる、予後に関する情報（生死、循環器疾患の合併の有無等）を、匿名化した上で使用します。診療情報は、日常診療下で得られたものを使用します。
診療情報等の他機関への提供方法	必要なデータを、研究担当者がエクセルファイルに登録して研究事務局に提出します。なお、データは、氏名や住所等といった個人を直ちに特定できるような情報とは切り離され、セキュリティーのかかったデータベース上で管理されます。
結果の公表	関連学会や学術論文等で発表予定です。対象者の氏名等の、直ちに個人を特定できる情報を公表することはありません。
個人情報の保護	対象者の方の情報等の使用に際しては、氏名や住所等といった個人を直ちに特定できるような情報とは切り離し、対象者個人とは無関係の番号を付けた上で、研究責任者の責任の下、廃棄するまで厳重に保管・管理します。
研究の資金源	本研究は厚生労働省からの科学研究費等の、公的機関からの資金により実施されています。
利益相反	研究者の利益相反の状況は、各研究実施機関で管理されています。当院の研究者においては、本研究の実施にあたり、研究の透明性や公正性を損なうような利益相反はありません。
情報等の二次利用	本研究で得られた情報は、本研究の目的以外には使用しません。
問い合わせ先	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 腎臓内科 新城 響 電話 052-832-1121（代表）

《別紙》

【研究組織】

1. 研究代表者

猪阪 善隆

(大阪大学大学院医学系研究科腎臓内科学教授および大阪大学医学部附属病院腎臓内科長)

2. 研究実施施設

北海道大学第二内科 西尾沙織

JCHO 仙台病院腎センター 佐藤壽伸

東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座腎・高血圧・内分泌分野 宮崎真理子

山形大学医学部附属病院腎臓膠原病内科 今田恒夫

福島県立医科大学医学部腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学 風間順一郎

筑波大学医学医療系臨床医学域腎臓内科学 山縣邦弘

群馬大学医学部附属病院腎臓・リウマチ内科 廣村桂樹

埼玉医科大学総合医療センター腎・高血圧内科 長谷川元

埼玉医科大学腎臓内科 岡田浩一

帝京大学医学部内科 藤垣嘉秀

東京女子医科大学病院第四内科 新田孝作

順天堂大学腎・高血圧内科腎臓内科 鈴木仁

聖マリアンナ医科大学医学部・腎臓高血圧内科 柴垣有吾

新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎・膠原病内科学 成田一衛

金沢医療センター腎・膠原病内科 北川清樹

金沢医科大学医学部腎臓内科 横山仁

金沢大学大学院腎病態統御学・腎臓内科学 和田隆志

大垣市民病院糖尿病・腎臓内科 傍島裕司

岐阜県立多治見病院腎臓内科 三村哲史

中東遠総合医療センター(旧掛川市立総合病院、袋井市民病院) 赤堀利行

浜松医科大学第一内科 安田日出夫

静岡県立総合病院腎臓内科 森典子

一宮市民病院腎臓内科 木村敏樹

中部ろうさい病院腎臓内科 藤田芳郎

半田市立半田病院腎臓内科 水谷真

名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座腎臓内科 丸山彰一

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院腎臓内科 石川英昭

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院腎臓内科 武田朝美

増子記念病院腎臓内科 両角國男

安城更生病院腎臓内科 玉井宏史

春日井市民病院腎臓内科 坂洋祐

江南厚生病院腎臓内科 平松武幸

海南病院腎臓内科 鈴木聡

藤田医科大学医学部腎臓内科学 湯澤由紀夫

市立四日市病院腎臓内科 長屋啓

公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院腎泌尿器センター腎臓内科 塚本達雄

大阪大学大学院医学系研究科腎臓内科学 猪阪善隆